

第 52 回全道少年野球十勝支部予選大会 大会要項

- 1 主 催 北海道軟式野球連盟十勝支部
- 2 後 援 十勝毎日新聞社、十勝スポーツ少年団、帯広少年軟式野球連盟、
十勝町村少年野球指導者協議会、帯広市教育委員会、
士幌町教育委員会、上士幌町教育委員会、大樹町教育委員会、広尾町教育委員会、本別町
教育委員会、足寄町教育委員会
- 3 協 賛 株式会社マテック
- 4 参 加 資 格 ・十勝管内各小学校に在籍する者で、チーム全員がスポーツ傷害保険、又はこれ
に類する保険に加入していること。
・全日本軟式野球連盟登録でスポーツ少年団に加入しているチーム。
・登録選手は、監督(30)・コーチ(29・28)を除いて25名以内とする。
・監督は、20歳以上であること。
- 5 全道大会参加 優 勝 — 第 52 回全道少年野球大会(開催地:札幌市)
枠 準優勝 — ホクレン旗争奪少年野球大会(支部第二代表)(開催地:札幌市)
第 3 位 — 道東ブロック少年野球交流大会(支部第一代表)(開催地:厚岸)
第 4 位 — 道東ブロック少年野球交流大会(支部第二代表)(開催地:厚岸)
- 6 大 会 日 程 <各ブロックトーナメント>
令和5年6月24日(土)6月25日(日)【予備日 7月1日(土)】
<支部代表決定戦(各ブロック優勝チーム)・閉会式>
令和5年7月1日(土)【予備日7月2日(日)】
- 7 会 場 [Aブロック] 帯 広 市 十勝川河川敷E・F
[Bブロック] 士 幌 町 士幌町総合グラウンド多目的広場
上士幌町 上士幌町運動広場
[Cブロック] 大 樹 町 大樹中央運動公園野球場
広 尾 町 広尾町堂丸山球場
[Dブロック] 本 別 町 本別太陽の丘野球場
足 寄 町 足寄町営球場
<支部代表決定戦> 十勝川河川敷E・F
- 8 雨天による判 原則現地の判断による。各球場の連絡先は下記のとおり。
断 帯広会場 :小川(090-8429-4140)
士幌会場 :西野(090-9753-2411) 上士幌会場 :大塚(090-6872-6067)
大樹会場 :辻本(090-8272-0359) 広尾会場 :山田(090-9511-5512)
本別会場 :大橋(090-9512-1286) 足寄会場 :澁谷(090-3392-6672)
- 9 大 会 本 部 北海道軟式野球連盟十勝支部【帯広の森平和球場】
TEL 0155-66-6216
FAX 0155-66-6216(TELと同じ)
- 10 用 具 金属製スパイクの使用は禁止。捕手は、プロテクター・レガース・マスク・ヘルメット
およびファールカップを着用すること。コーチスボックスに入るベースコーチ及び
シートノックの補助員はヘルメットを着用すること。
- 11 ベンチに入れ ェンチには、登録選手25名以下と、ユニホームを着た監督(30)・コーチ(29・
る人数の制限 28)の3名の他にチーム責任者1名、マネージャー1名、スコアラー1名の3名
以内とする。
- 12 規 則 ・2023年度公認野球規則を適用する。
① 試合は、全試合トーナメント方式とし、ブロック予選は 5 回戦、正式試合は3イニ
ングとする。又、3回以降7点差の場合はコールドゲームを適用する。
② 支部代表決定戦は全試合 6 回戦とし、5 回以降 7 点差の場合はコールドゲームを
適用する。
③ 選手の健康管理を考慮し、試合時間は 1 時間 30 分とし、1 時間 15 分を超えて新
しいイニングに入らないこととする。但し、プレーヤー等の負傷手当のための遅延

- は試合時間に算入しないものとする。
- 12 規 則 ④ ゲームは、①・②・③どちらも試合成立となる。
 ⑤ 投手の投球数は、1日70球(4年生以下は60球)とする。ただし、70球(4年生以下は60球)に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃が完了するまで投球することができる。
 ⑥ ダートサークル内に入る補助員はヘルメットを着用すること。
 ⑦ 頭部へのヒット・バイ・ピッチにおいては、その程度を問わず臨時代走の処置を行うものとする。
 ⑧ 各球場の特別ルールに関する事項は試合前の打順表交換時に説明します。
- 13 延 長 戦 最終回を終了して同点の場合は、タイブレーク方式を1回行い、なおも同点の場合は抽選とする。ただし、最終回を終了した時点で試合時間を超える場合は、即抽選とする。(タイブレーク方式は無死、1・2塁から開始する)
- 14 抗 議 権 抗議の出来る者は、学童部は監督と当該プレーヤーとする。
- 15 競技に関する特別規則 ・規則3・03原注の「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。」は適用しない。
 ・監督・選手がタイムをかけて投手の元に集まる事の出来る回数は3回とする。攻撃側のタイムについても3回までとする。ただし、先にタイムを要求した側のタイムが終了する前に、後から集まった側が終了した場合は、後から集まった側の回数はカウントしないが、長引けばタイムをとったものとする。なお、タイブレーク方式となった場合は、1度行くことができる。
- 16 試合に関する取り決め事項 ・シートノックは5分間とする。ただし、各会場最初の試合のみとする。但し、天候及び大会運営上シートノックを行わないで試合を開始する場合もある。
 ・監督、コーチのマウンドへの行き返りは小走りでスピーディーに行くこと。
 ・打順表交換は、第1試合は試合開始30分前とし、第2試合以降は前の試合の3回終了時に攻守を決定する。また、打順表には、**ベンチ入りする選手**を記載のこと。
 ・コーチスボックスに入るベースコーチのウインドブレーカーの着用を認めるが、同意匠とすること。
 ・本塁での捕手への体当たり及び2塁への不必要なスライディングを禁止する(インターフェアを適用)。
 ・捕手のブロックを禁止する(オプストラクションを適用される場合がある)。
 ・試合前に限りコーチによるブルペンキャッチャーを認める。
 ・控え選手が準備投球を捕球する場合は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球する。(出場している内野手可)
- 17 試合のスピードアップ化 ・あまりインターバルが長かったり、無用なけん制が度を過ぎると、反則行為としてペナルティを課することがある。
- 18 応援について ・感染防止対策上、観戦時のマスクの着用を推奨する。また、音の出る物での応援は行わないこと。(プレーヤーの声、指導者の指示が通りやすいように)
- 19 マナーアップ ① 攻守交代の際に、控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることを禁止する。
 ② 投手の準備投球に合わせて、先頭打者、次打者が次打者席で素振りをする以外、他の選手がベンチを出て素振りをするのを禁止する。
 ③ 打者が投げ終わった球種を、次打者他に知らせることを禁止する。
 ④ 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発することを禁止する。
 ⑤ 学童部、少年部(女子共)の試合においては、ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。
- 20 そ の 他 ・大会運営の関係上、各会場に1チーム、開催地チームを入れることとする。(監督・主将会議の際に抽選により決定する。)